

アイヌ民話ライブラリ 1

上田トシの民話 1



アイヌ民族博物館

第4話 散文の物語

シャチの耳輪

収録日：1995年11月10日

資料番号：35229A

添付CD：2-1（29分42秒）

第4話 散文の物語「シャチの耳輪」¹⁾

(ユペツの若者が語る)

ユペトウン クル アネ ヒネ アナン イケ
 Yupet un kur a=ne hine an=an _hike
 ユペツ の 人 (私)であって 暮らす(私) したが

私はユペツに暮らす者で

アオナハ アン アウヌフ アン ヒネ オカアン。
 a=onaha an a=unuhu an hine oka=an.
 (私の)父 いる (私の)母 い て 暮らす(私)

父と母

アサ カ アン ヒネ オカアン ペ ネ ヒケ
 a=sa ka an hine oka=an pe ne hike
 (私の)姉 も い て 暮らす(私) もの だ ったが

姉と暮らしていました。

タネ アオナハ カ ケマ パセ プ ネ クス
 tane a=onaha ka kema pase p ne kusu
 もう (私の)父 も 足 重い もの だ から

父はもう足が弱くなったので

- 5 エキムネ カ ソモ キ コロカ
 ekimne ka somoki korka
 山へ行き も しな い けれど

山猟には行きませんでした

ヤイカタ エキムネアン ペ ネ クス
 yaykata ekimne=an pe ne kusu
 自分で 山猟に行く(私) の だ から

私が山猟に行くので

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ
 yuk ne ciki kamuy ne ciki
 シカ で も クマ で も

シカでもクマでも

アエアウナルラ ワ
 a=eawnarura wa
 (私)家に運ん で

家に運んで

ネプ アエ ルスイ カ アコン ルスイ カ
 nep a=e rusuy ka a=kor_rusuy ka
 何 (私)食べ たい も (私)持ち たい も

何を食いたいとも欲しいとも

- 10 ソモ キ ノ… ピンノ²⁾ オカアン。
 somo ki no... pinno oka=an.
 しな い で ? 暮らす(私)

思わずに暮らしていました。

アオナ ウタラ トウラノ オカアン ペ ネ ア プ
 a=ona utar turano oka=an pe ne a p
 (私の)父 たち と一緒に 暮らす(私) もの だ った が

父たちと一緒に暮らしていたのですが

1 1995年11月10日、上田トシ氏宅にて、安田千夏が調査・収録。村木美幸が同席した。上田トシ氏は、この話を姉である木村きみ氏から聞いたと語っている。同じ話者による同話が、北海道立アイヌ民族文化研究センター『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』で公開されている(資料番号CC800084)。また財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構編『アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第3号』平石清隆著「沙流地方のウウエペケレ～上田としの伝承～8. 湧別の男が川で死にかけていた女を救う話」(pp703-727)に同話別録音の活字化資料が掲載されている。

2 何かを言いかけたように聞こえるが不明。

シネアンタ ホツケアン アクス オラノ
sineanta hotke=an akusu orano
あるとき 寝る(私) したところ それから

あるとき、私が寝ていると

ネン カ メノコ ペウタンケ ハウ
nen ka menoko pewtanke haw
誰 か 女性 危急の叫び 声

誰か女性の叫び声を

アヌ ペコロ ヤイヌアン ヒ クス
a=nu pekor yaynu=an hi kusu
(私)聞くように 思う(私) ので

聞いたように思いました。

15 ホプニアン ヒネ イコカヌアン コロ
hopuni=an hine ikokanu=an kor
起きる(私) して 耳を澄ます(私) と

起きて耳を澄ますと

ソモ アヌ。
somo a=nu.
しない (私)聞く

何も聞こえません。

オラ スイ エニヌイペ カ タ アサパ アアヌ コロ
ora suy eninuype ka ta a=sapa a=anu kor
こんど また 枕 上 に (私の)頭 (私)置く と

また枕の上に頭を置くと

ランマ ペウタンケ ハウ アヌ ヒ クス
ranma pewtanke haw a=nu hi kusu
まだ 危急の叫び 声 (私)聞く ので

まだ叫び声が聞こえるので

オラ ホプニアン アクス アオナ
ora hopuni=an akusu a=ona
こんど 起きる(私) したところ (私の)父

起き上がると、父は

20 マク ネ ヒネ ホプニアン ヒ ネ ヤ
mak ne hine hopuni=an hi ne ya
どう し て 起きる(私) ことだ か

どうして起きたのかと

イコウウエペケンヌ。
i=kouwepekennu.
(私に)尋ねる

私に尋ねました。

アウヌフ… アオナハ キ ヒ クス
a=unuhu... a=onaha ki hi kusu
(私の)母 (私の)父 する ので

父が尋ねるので

“ タプネ カネ
“ tapne kane
こうであって

「このようなわけで

メノコ ペウタンケ ハウ アヌ ワ
menoko pewtanke haw a=nu wa
女性 危急の叫び 声 (私)聞いて

女性の叫び声を聞いて

25 アオヤモクテ ワ ホプニアン ルウエ ネ。
a=oyamokte wa hopuni=an ruwe ne.
(私)不思議に思っ て 起きる(私) の です

不思議に思って起きたのです。

アオナハ ソモ ヌ³ ルウェ ネ ヤ?”
 a=onaha somo nu ruwe ne ya?”
 (私の)父 しない 聞く の です か

父さんは聞こえなかったのですか」

アコウウェペケンヌ アクス アオナハ
 a=kouwepekennu akusu a=onaha
 (私)尋ねる したところ (私の)父

と聞くと、父は

“ヤイカタ アナクネ ソモ アヌ コロカ
 “yaykata anakne somo a=nu korka
 自分 は しない (私)聞く けれど

「私には聞こえなかったが

ネイ タ カ メノコ ヤイウエンヌカラ ワ
 ney ta ka menoko yaywennukar wa
 どこか で も 女性 苦しん で

どこかで女性がひどい目に遭って

30 アン ワ ネ ナンコラ
 an wa ne nankor _ya
 い て だ ろう か

いるのだろうか。

カムイ レンカイネ
 kamuy renkayne
 神 意思によって

神のはからいで

アイコアスラニ ワ ネ ナンコロ クシ… ネ ナ。⁴
 a=i=koasurani wa ne nankor kus... ne na.
 (人が私に)知らせ て だ ろう から だ よ

私たちに知らせているのだろう。

ネ ペウタンケ ハウ エラメパカリ ワ
 ne pewtanke haw e=ramepakari wa
 その 危急の叫び 声 (お前)察し て

おまえはその叫び声が出たと思うほうへ

トモ ウンノ エイカオパシ ヤク ピリカ ナ”
 tomo unno e=ikaopas yak pirka na”
 そちら へ (お前)助けに行く と いい よ

まっすぐ助けに行きなさい」

35 セコロ アオナハ ハウエアン ヒ クス オラ
 sekor a=onaha hawean hi kusu ora
 と (私の)父 言う ので こんど

と父が言うので

ナニ ソイエネアン ヒネ オラノ
 nani soyene=an hine orano
 すぐ 外に出る(私) して それから

私はすぐに家を出ました。

アコロ ポン ユペツ トウラシ
 a=kor Pon Yupet turasi
 (私の)の 小さい ユペツ に沿って上手に

私たちの住むユペツ川の支流を

パシ カネ テレケ カネ アラパアン アイネ
 pas kane terke kane arpa=an ayne
 走り つつ 跳び つつ 行く(私) したあげく

一目散に駆け上がると

3 人称接辞エ e= (あなたが) が脱落か。

4 単にアイコアスラニ ナンコン ナ a=i=koasurani nankor na. で良いところを言いよんだものか。

アコロ ペツ… ポン ユペツ ペテトク タ
 a=kor pet... pon Yupet petetok ta
 (私の)の 川 小さい ユペツ 上流 に

ユペツの水源を

40 アラパアン ヒネ
 arpa=an hine
 行く(私) して

越え

シクマ カ タ ヘメスアン ヒ オラ スイ
 sikuma ka ta hemesu=an hi ora suy
 峰 上 に 登る(私) してから また

峰を越えてから

ポロ ユペツ ペツ ルウオロケ アオラン ヒ オラノ
 Poro Yupet pet ruworke a=oran hi orano
 大きい ユペツ 川 筋のところ (私)に下り てから

ユペツ本流の流域に下りて

スイ ペツ ペシ
 suy pet pes
 また 川 に沿って下流へ

また川沿いに下流のほうへ

パシ カネ テレケ カネ ヒネ… アン アイネ
 pas kane terke kane hine... an ayne
 走り つつ 跳ね つつ して いる したあげく

一目散に跳ぶように

45 ネ… サナン アクス
 ne... san=an akusu
 その 下る(私) したところ

駆け下りました。すると

イエトク ウン ネプ カ ペツ オンナイ ウン
 i=etok un nep ka pet onnay un
 (私の)前 に 何 か 川 の中 に

何かが私の前の川の中で

シツ… トム… ペ カ…⁵
 sir... tom... pe ka...
 あたり 光る もの も

…

トム ランケ トム ランケ シリ イキ ヒ クス
 tom ranke tom ranke siri iki hi kusu
 何度も光る 様子 する ので

キラキラと光っています。

トモ ウンノ ホ… ノ…
 tomo unno ho... no...
 そこに向かって

そこへ

50 アラパアン ルウエ ネ アクス
 arpa=an ruwe ne akusu
 行く(私) こと だったところ

行ってみると

ポロ ユペツ ネ クス
 Poro Yupet ne kusu
 大きい ユペツ だ から

ユペツの本流は

5 言いよどみか。

ペッ ポロ カ キ プ ネ クス
pet poro ka ki p ne kusu
川 大きい も する の だ から

大きい川なので

ネ オヤン ウシケ タ シツ…
ne oyan uske ta sit…
その 上がる 場所 に

岸に上がる所の

ワッカ チュコポイエポイエ コロ アン ウシケ タ
wakka cukopoyepoye kor an uske ta
水 かきまわされ て いる 場所 に

水が渦巻いていて、そこで

55 ネプ カ シプス ランケ ラウオシマ ランケ
nep ka sipusu ranke rawosma ranke
何 か 何度も浮かぶ 何度も沈む

何かが浮かんだり沈んだり

コロ アン シリ イキ ヒネ オラ
kor an siri iki hine ora
ながら いる 様子 し て こんど

しているようです。

シプス コロ ネプ カ トム ランケ
sipusu kor nep ka tom ranke
浮かぶ と 何 か 何度も光る

そして浮かび上がると何かが光り

ラウオシマ オロ ネ トム シリ
rawosma oro ne tom siri
沈む 時 その 光る 様子

沈むとその光は

アヌカラ カ ソモ キ コロカ
a=nukar ka somo ki korka
(私)見 も しない けれど

見えなくなるのですが

60 シプス ラポッケ
sipusu rapokke
浮かぶ 間に

浮かび上がっている間は

トム ランケ トム ランケ シリ アヌカラ。
tom ranke tom ranke siri a=nukar.
何度も光る 何度も光る 様子 (私)見る

キラキラ光っているのが見えました。

アオヤモクテ ヒ クス オラ
a=oyamokte hi kusu ora
(私)不思議に思う ので こんど

不思議に思ったので

シプス ラポク セコロ ヤイヌアン ワ
sipusu rapok sekor yaynu=an wa
浮かぶ 間 と 思う(私) して

浮かび上がった間にとまって

トム テク ラポッケ ペトルン
tom tek rapokke pet or un
光る 瞬 間 川 の 中 に

光った瞬間川に

65 テレケテクアン イネ
terketek=an _hine
さっと飛び込む(私) して

ぱっと飛び込んで

ラウオテレケアン ヒネ
 rawoterke=an hine
 下に飛び込む(私) して

もぐって

ネ トム ランケ キ コロ アン ペ
 ne tom ranke ki kor an pe
 その 光る 何度も し て いる もの

そのキラキラ光っているものを

アキシマ テク アクス
 a=kisma tek akusu
 (私)掴む さっと したところ

さっつつかんだところ

メノコ ライ メノコ ネ アン ヒ オラ
 menoko ray menoko ne an hi ora
 女性 死ぬ 女性 に なっ てから

女性、それも死んだ女性のようにでした。

70 アヤンケ ヒネ
 a=yanke hine
 (私)上げる して

私は陸に

トシカ カ タ アヤンケ ヒ オラ
 toska ka ta a=yanke hi ora
 土手 上 に (私)上げ てから

川の土手に引き上げました。

アオナ エネ イエウパシクマ ヒ
 a=ona ene i=eupaskuma hi
 (私の)父 こう (私)話す こと

父が私に話してくれたことは

“ペトンナイ タ アパ プ アナクネ
 “pet onnay ta a=pa p anakne
 川 中 で (私)見つける もの は

「川の中で発見された人は

スマ ヘネ サマムニ ヘネ ネ ヤッカ
 suma hene samamni hene ne yakka
 石 でも 倒木 でも で も

石や倒木に

75 ウプシ ノ アアヌ ワ アテイェ ヤクン
 upsi no a=anu wa a=teye yakun
 うつ伏せ に (人)置い て (人)押す ならば

うつ伏せに置いて背を押せば

ワッカ オヘトウ プ アナクネ
 wakka ohetu p anakne
 水 を吐く ものは

水を吐く人は

アシクヌレ エアシカイ ペ ネ コロカ
 a=siknure easkay pe ne korka
 (私)生かせ られる もの だ けれど

助けることができるが

ワッカ オヘトウ カ ソモ キ プ アナクネ
 wakka ohetu ka somo ki p anakne
 水 吐く も し ない もの は

水を吐かない人は

アオラウキ プ ネ ナ”
 a=orawki p ne na”
 (私)しそこなう もの だ よ

助からないのだよ」

80 セコロ アン ペ アオナハ イエウパシクマ ワ
 sekor an pe a=onaha i=eupaskuma wa
 と いう こと (私の)父 (私に)話し て

と父が私に話して

アヌ ア プ セコロ ヤイヌアン ヒ クス
 a=nu a p sekor yaynu=an hi kusu
 (私)聞いた が と 思う(私) だから

くれたのを思い出したので

サマムニ カ ウプシ ノ アアヌ ヒネ
 samamni ka upsi no a=anu hine
 倒木 上 に伏せ て (私)置い て

倒れ木の上うつ伏せに置いて

アテイェ ルウエ ネ アクス
 a=teye ruwe ne akusu
 (私)押す こと だっ たところ

背を押したところ

ワッカ オヘトウ ヒ クス オラ
 wakka ohetu hi kusu ora
 水 を吐く ので こんど

水を吐いたので

85 ネン ポカ セコロ ヤイヌアン コロ
 nen poka sekor yaynu=an kor
 何 とか と 思う(私) ながら

何とかしてと思って

インカラン ルウエ ネ アクス
 inkar=an ruwe ne akusu
 見る(私) こと だっ たところ

見ると

ネア メノコ キサラ… オアラ キサラハ ウン
 nea menoko kisar... oar kisaraha un
 あの 女性 耳 片方 の耳 に

その娘は片方の耳に

シロカネ ニンカリ⁶ エオコク カネ アン オラ
 sirokane ninkari eokok kane an ora
 銀 耳輪 をつけ て いる こんど

銀の耳輪をつけていました。

ネ ニンカリ ウン レプンカムイ ノカ オ
 ne ninkari un repunkamuy noka o
 その 耳輪 に シャチ神 形 がつく

その耳輪は沖の神であるシャチの姿がついた

90 ニンカリ ネ ヒ オラ…ヒ クス ナニ
 ninkari ne hi ora... hi kusu nani
 耳輪 である だから すぐに

耳輪でした。それですぐ

カムイ チカシヌカラ メノコ ネ ヒ
 kamuy cikasnukar menoko ne hi
 神 見守られる 女性 だ こと

神に見守られる娘であると

アエラムアニ オラ
 a=eramuan _hi ora
 (私)わかる してから

私にはわかったので

6 アイヌの耳輪はピアスのように耳たぶに針で穴を開けて装着する。

アミ ワ オカイ ペ イカ ワ アミプ
 a=mi wa okay pe ika wa amip
 (私)着 て いる もの その上 から 着物

私が着ているもの、私の上着を

ウセ アアヌ ヒネ アミレ オラ
 use a=anu hine a=mire ora
 脱ぐ (私)置い て (私)着せる こんど

脱いで着せてやって

95 ミ ワ オカイ ペ アナクネ ウセ アアヌ イネ
 mi wa okay pe anakne use a=anu _hine
 着 て いる もの は 脱い で

女性が着ていたものは脱がせて

アヌンパ ヒネ
 a=numpa hine
 (私)絞っ て

絞って

アシタプカコモ テク イネ オラ
 a=sitapakomoto tek _hine ora
 (私)肩にかける さっと して こんど

自分の肩にひっかけました。

ネ メノコ カ
 ne menoko ka
 その 女性 も

その女性も

アシタプカコモ テク イネ オラノ スイ
 a=sitapakomoto tek _hine orano suy
 (私)肩に担ぐ さっと して それから また

肩にさっと担いで、また

100 ペツ トウラシ ホユプアン ヒネ エカン イネ
 pet turasi hoyupu=an hine ek=an _hine
 川 を遡って 走る(私) して 来る(私) して

川をさかのぼって走って来て

アウニ タ シレパアン アクス
 a=uni ta sirepa=an akusu
 (私)の家 に 着く(私) したところ

私の家に着きました。すると

アオナハ チセ オツ タ チセ オンナイ タ
 a=onaha cise or_ ta cise onnay ta
 (私)の父 家 の所 で 家 の中 で

父が家の中で

カムイオロイタク コロ アン ウシケ タ
 kamuy'oroytak kor an uske ta
 神に助けを求め て いる ところ に

神に助けを求めているところ

エカン ヒ クス
 ek=an hi kusu
 来る(私) だから

でした。

105 アフナニ ナニ アサハ エホツケヒ
 ahun=an _hi nani a=saha ehotkehi
 家に入る(私) とき すぐに (私)の姉 寝床

家に入るとすぐ姉の寝床が

オハラキシソ ワ アン ペ ネ クス アサ エウン
 oharkiso wa an pe ne kusu a=sa eun
 左座 に ある もの だ から (私)の姉 に

左座側にあるので、姉に

“メノコ アナクネ オハオカ ワ
 “menoko anakne ohaoka wa
 女性 は 同じにい て

「女性は女性同士

ウウエプリウエン⁷ ペ ネ ナ。
 uwepuriwen pe ne na.
 助け合う もの だ よ

助け合うものです。

タン メノコ エプリウエン ワ… ヤク ピリカ ナ”
 tan menoko epuriwen wa… yak pirka na”
 この 女性 をかばう と いい よ

この女性を見てあげてください

110 セコロ アイェ アクス
 sekor a=ye akusu
 と (私)言っ たところ

と私が言うと

アサ エライキマテク コロ オラ ナニ ミ ワ…
 a=sa eraykimatek kor ora nani mi wa…
 (私の)姉 ひどく驚い て こんど すぐに 着 て

姉はひどく驚きながらすぐ服を着て

アサ コロ ワ オカイ ペ サウオクタ ヒネ オラ
 a=sa kor wa okay pe sawokuta hine ora
 (私の)姉持っ て いる もの を全部持ち出 て こんど

姉の持ち物を全部出して

ソホ カラ ネ ヤ ミレ ネ ヤ キ。
 soho kar ne ya mire ne ya ki.
 寝床 を作る だとか 着せる だとか する

寝床を敷いたり着物を着せたりしました。

オロ タ アホツケレ ヒケ カ
 oro ta a=hotkere hike ka
 そこ に (私)寝かせ て も

女性をそこに寝かせはしたものの

115 エネ アカラ ワ アシクヌレ ヒ カ
 ene a=kar wa a=siknure hi ka
 どう (私)し て (私)生かす 仕方 も

どうやって介抱したらいいか

エランペウテク ノ
 erampewtek no
 わからない で

わかりません。

ウオツ タ アン ペ ネ クス オラ
 wor_ ta an pe ne kusu ora
 水中 に いる もの だ から こんど

水に濡れていたの

ピリカノ… アミプ アサ コロ ワ オカイ ペ
 pirkano… amip a=sa kor wa okay pe
 よく 着物 (私の)姉持っ て いる もの

姉の持っていた着物を

アミレ ア コロカ
 a=mire a korka
 (私)着せ た けれど

着せたのですが

7 エプリウエン epuriwen…に加勢する [田]、～をかばう [奥]

120 アサハ カ エライキマテク コロ
 a=saha ka eraykimatek kor
 (私の)姉 も ひどく驚き ながら

姉はひどく驚きながら

ナニ ウセイカラ ワ
 nani useykar wa
 すぐに 湯を沸かし て

すぐにお湯を沸かして

ウセイ アニ カ… ポプケレ…
 usey ani ka… popkere…
 お湯 で も 沸かす

ウセイ アニ イポプケレ ネ ヤ オラ
 usey ani ipopkere ne ya ora
 お湯 で 人を暖める など こんど

お湯で暖めたりしました。

ネットパケ ネ ヤッカ ネ オロ
 netopake ne yakka ne oro
 体 であって も どこも

体もいたるところ

125 ピロ ウシケ イサム ウシケ イサム ノ
 piro uske isam uske isam no
 傷つく 所 ない 所 ない で

傷のつかない場所がないくらいに

クンネ トツチェ ネ ヤ ピロ ネ ヤ キ。
 kunne totce ne ya piro ne ya ki.
 黒い あざ など 傷つく など する

あざや傷あとがありました。

アシトマノ カネ アン ペ ネ クス オラノ
 asitomano kane an pe ne kusu orano
 恐ろしい ほど ある もの な ので それから

それはもう恐ろしいほどなので

アサ ネ ピロ ウシケ ネ ヤッカ ピリ カラカラ
 a=sa ne piro uske ne yakka pir karkar
 (私の)姉 その 傷つく 所 であって も 傷 を手当する

姉がその傷口を手当して

ウセイ アニ ピリ カラカラ オラ
 usey ani pir karkar ora
 お湯 で 傷 を手当する こんど

お湯で傷口を拭いてやりました。

130 ヤイカタ カ アカムコポプケレ クス
 yaykata ka a=kamkopopkere kusu
 自分で も (私)肉で暖める ために

私も自分の体温で暖めようと

サマ タ ホツケアン ワ アカミヒ アニ
 sama ta hotke=an wa a=kamihi ani
 そば に 寝る(私) して (私の)肉 で

隣に寝て私の体で

アポプケレ ネ ヤ キ コロ オカアン。
 a=popkere ne ya ki kor oka=an.
 (私)暖める など し て いる(私)

暖めたりしていました。

アオナハ ネ ヤッカ
 a=onaha ne yakka
 (私の)父 であって も

父も

- カムイ ネ マヌ プ エウン
kamuy ne manu p eun
神 と いう もの へ
- 135 ヤイアスラニ ヒ イェ コロ
yay'asurani hi ye kor
自分で知らせる こと 言っ て
- ウサ ウサ アサ ネ ヤ レン アネ ヒネ
usa usa a=sa ne ya ren a=ne hine
いろいろ (私の)姉 でも 3人 (私達)であっ て
- アウコアリキキ ロク アイネ ネ イキ アイネ
a=ukoarikiki rok ayne ne iki ayne
(私達)共に頑張っ た あげく そう した あげく
- タンネ ヘセ アラパレ ヒ オラ
tanne hese arpare hi ora
長い 息 行かせる してから
- ネン ポカ セコン ネ ヒネ オラノ
nen poka sekori ne hine orano
何 とか そうして してから
- 140 アコアリキキ ロク アイネ オラ
a=koarikiki rok ayne ora
(私)頑張っ た あげく こんど
- アサ エウン… カ パン サヨ カラ ヒネ
a=sa eun... ka pan sayo kar hine
(私の)姉 へ も 薄い かゆ を作っ て
- パロ オッテ ルウエ ネ アクス イキ アイネ
paro otte ruwe ne akusu iki ayne
口 につける こと だっ たところ する したあげく
- ネ サヨ カ ルキ ヒ アナクネ
ne sayo ka ruki hi anakne
その かゆ も 飲み込むことは
- ネン ポカ アカラ ワ
nen poka a=kar wa
何 とか (私)する して
- 145 タネ アシクヌレ クニ
tane a=siknure kuni
もう (私)生かす と
- アエパレ ルウエ ネ ヒネ… コロカ オラ
a=epare ruwe ne hine... korka ora
(私)至る こと であっ して けれど こんど
- エネ アカリ カ イサム
ene a=kar hi ka isam
どう (私)する 方法 も ない
- 神に
- 危急を知らせる言葉を唱えたりと
- あれこれ姉と3人で
- 一生懸命手を尽くしているうちに
- やがて女性は長い息をつきました。
- 何とかしようと
- さらに頑張って
- 姉が薄い粥を作って
- 口に入れると、やがて
- その粥を飲み込むことは
- 何とかできて
- ようやく一命を取り留めるところまで
- こぎつけました。しかし
- 手当のしようもなく

ヤイエラムペウテク ネパ… ネ コロカ
 yayerampewtek nepa... ne korka
 わからない だ けれど

わからないのですが

シクヌ ヒ アナクネ… アシクヌレ ヒ
 siknu hi anakne... a=siknure hi
 生きる ことは (私)生かす こと

命は助けられたことが

150 アエラムアン ヒ オラノ アエヤイコブンテク コロ
 a=eramuan hi orano a=eyaykopuntek kor
 (私)わかる こと それから (私)喜び ながら

わかって私が喜ぶと

アサ ネ ヤツカ
 a=sa ne yakka
 (私の)姉 であっても

姉も

エヤイコブンテク コロ カネ コロ カネ
 eyaykopuntek kor kane kor kane
 喜び ながら して ながら して

喜んで喜んで

ピリヒ カラ ヒ アナクネ
 pirihi kar hi anakne
 その傷 を治す ことは

傷の手に

アサ コアリキキ コロ アン アイネ
 a=sa koarikiki kor an ayne
 (私の)姉 一生懸命になっ て いる したあげく

姉は一生懸命頑張っていて

155 ネ… イキ アイネ
 ne... iki ayne
 その する したあげく

そうこうするうちに

ネン ポカ ヤイエラムアン ルウエ ネ コロカ
 nen poka yayeramuan ruwe ne korka
 何 とか 気がつく こと だ けれど

女性は何とか意識が戻りました。

ピリカノ ヤイエラムアン ルウエ カ
 pirkano yayeramuan ruwe ka
 よく 気がつく こと も

すっかり正気に戻ったのでは

ソモ キ プ ネ コロカ
 somo ki p ne korka
 しない の だ けれど

ないのですが

ネン ネン アカラ ネ ヤ キ ラポッケ
 nen nen a=kar ne ya ki rapokke
 いる いる (私)し たり する うちに

いろいろと手を尽くしているうちに

160 アサ コロ ワ オカイ ペ アミレ ネ ヤ
 a=sa kor wa okay pe a=mire ne ya
 (私の)姉 持っ て いる もの (私)着せる など

姉の着物を着せたり

サパハ ネ ヤツカ ウセイ アニ
 sapaha ne yakka usey ani
 その頭 であっても お湯 で

頭もお湯で

アサ ポプケレ ネ ヤ
 a=sa popkere ne ya
 (私の)姉 を暖める など

姉が暖めたり

ネン ネン イキ ロク アイネ
 nen nen iki rok ayne
 いろ いろ し た あげく

いろいろしているうちに

アシクヌレ ヒ アエパレ ルウエ ネ
 a=siknure hi a=epare ruwe ne
 (私)生かす こと (私)至る こと である

命を救うことができました。

165 コロカ オラ マク ネ ワ
 korka ora mak ne wa
 けれど こんど どう し て

しかしどういふわけで

エネ アン ワ… アパ ルウエ ネ ヤ
 ene an wa... a=pa ruwe ne ya
 こう し て (私)見つける こと だ か

あんな状態で私に発見されたのか

アコウウエペケンヌ カ アエランポキウエン
 a=kouwepekennu ka a=erampokiwen
 (私)尋ねる も (私)かわいそうに思う

尋ねるのもかわいそう

ペ ネ クス
 pe ne kusu
 もの だ から

なので

アコウウエペケンヌ カ ソモ キ ノ オカアン
 a=kouwepekennu ka somo ki no oka=an
 (私)尋ねる も しない で いる(私)

聞かずにいました。

170 ラポッケ オラ イキ アイネ
 rapokke ora iki ayne
 そのうちに こんど する したあげく

そうするうちに

ヤイエラムアン ルウエ ネ アクス
 yayeramuan ruwe ne akusu
 気がつく こと だったところ

女性は正気に戻ると

オラノ チサ チサ コロ パテク アン コロカ
 orano cis a cis a kor patek an korka
 こんど 何度も泣い て ばかり いる けれど

今度は泣いてばかりいて

エネ ネ ヒ カ イサム ペ ネ クス
 ene ne hi ka isam pe ne kusu
 どう する こと も ない もの だ から

どうすることもできないので

アコウウエペケンヌ カ ソモ キ。
 a=kouwepekennu ka somo ki.
 (私)尋ねる も しない

尋ねることもしませんでした。

175 オラ アプカシ カ エアイカプ。
 ora apkas ka eaykap.
 こんど 歩く も できない

女性は歩くこともできませんでした。

ケマハ カ カイ ワ ネ ノイネ
 kemaha ka kay wa ne noyne
 その足 も 折れ て いるようで

足が折れているらしく

アプカシ カ エアイカツペ ネ クス オラノ
 apkas ka eaykap pe ne kusu orano
 歩き も できない もの だ から こんど

歩くこともできないので

アサ ネ メノコ オウネウシ⁸ コロ
 a=sa ne menoko owneus kor
 (私の)姉 の 女性 世話をし? ながら

姉がその女性を世話しながら

オカアン ヒケ カ… コロ オカアン アイネ
 oka=an hike ka... kor oka=an ayne
 暮らす(私) して も ながら 暮らす(私) したあげく

暮らしていました。

180 タネ オホンノ
 tane ohonno
 もう しばらく

それからもう

トウ チュプ カ レ チュプ カ ネ ヤツカ
 tu cup ka re cup ka ne yakka
 2 月 も 3 月 も であつても

2月も3月もたちましたが

アプカシ エウエン ワ アプカシ エアイカツ ペ ネ クス
 apkas ewen wa apkas eaykap pe nekusu
 歩く に悪く て 歩け ない もの だ から 足が不自由で歩けないものですから

アサ オウネウシ コロ オカアン ラポッケ
 a=sa ouneus kor oka=an rapokke
 (私の)姉 世話をし? ながら 暮らす(私達) そのうちに

姉が世話をして暮らしているうちに

シネ アンチカラ
 sine ancikar
 ある 晩

ある夜

185 ウエンタラパン ルウエ ネ アクス
 wentarap=an ruwe ne akusu
 夢を見る(私) こと だつ たところ

私は夢を見ました。

カムイ ネ クス コラチ アン クル アン ヒネ
 kamuy ne kusu koraci an kur an hine
 神 だ から そのように いる 人 い て

神にふさわしい姿をした人がいて

エネ ハワシ。
 ene hawas.
 このように言った

このように言いました。

“タン ユペトウン ニシパ
 “tan Yupet un nispa
 これ ユペツ の 旦那さん

「これ、ユペツの男性よ。

イタカン チキ エイヌ カトウ エネ アニ⁹。
 itak=an ciki e=inu katu ene an_hi.
 言う(私) したら (お前)聞く わけ こう いうこと

私の話すことをよく聞きなさい。

190 ソンノ アエコヤイライケ。
 sonno a=e=koyayrayke.
 本当に (私があなたに)感謝する

本当にあなたに感謝します。

テエタ カネ オリパク トウラ アプカサン¹⁰ ヒ タ
 teeta kane oripak tura apkas=an hi ta
 昔 おそれ慎む とともに 歩く(私) 時 に

昔、私が慎み深く歩いている時に

タン メノコ ウヌフ オナ ウタラ パクノ
 tan menoko unuhu ona utar pakno
 この 女性 の母 父 たち ほど

この娘と父母たちほど

ピリカケウトウムコロパ メッカ¹¹ ウタラ イサム ヒ
 pirkakewtumkorpa mekka utar isam hi
 良い心を持つ 上? 人たち いない こと

善良な者はなく

アオクンヌレ ヒ クス アン ペ
 a=okunnure hi kusu an pe
 (私)驚く だから ある もの

ほんとうに驚いたもの

195 タン メノコ ネ ルウェ ネ ア プ
 tan menoko ne ruwe ne a p
 この 女性 な の だった が

でした。それが

エネ アン ヤイウエンヌカラ コロ アン ヒ カ
 ene an yaywennukar kor an hi ka
 このように 苦しみ ながら いる ことも

こんな目に遭っているとも

アエランペウテク ノ アナン ラポッケ
 a=erampewtek no an=an rapokke
 (私)わからない で いる(私) そのうちに

知らずにいるうちに

エオナハ カムイ シセレマクシテ ヒ
 e=onaha kamuy sisermakuste hi
 (お前の)父 神 自分の背後で守る こと

あなたの父親が加護を

カムイ エピッタ イェ コロ アン コロ
 kamuy epitta ye kor an kor
 神 みんな 言っ て いる と

神々に頼んでいて

200 エアシリ アマツネポ ネ アアン ヒ
 easir a=matnepo ne aan¹² hi
 初めて (私の)娘 だった こと

そこで初めて私の守護する娘だと

9 前掲の『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』CC800084によると、このセリフの主はレプンカムイ repunkamuy「沖の神」であり、人間の娘を気に入り守護していることを示すのが前出の耳輪であると説明されている。そしてそのことが悲劇の発端となったことはこの後の語りでわかる。

10 レプンカムイ repunkamuy (沖の神)はシャチ神であるとされている。口承文芸中まるで雷神や伝染病の神のように旅をするという表現は珍しい。

11 メッカ mekka「上」と聞こえるが、何かを言いよんでいるのかも知れない。

12 アアン aan は完了を表す助動詞 a よりも、より「こういうことが後からわかった」というニュアンスで使われる。

アエラムアン ヒ オラ アエコアスラニ。
 a=eramuan hi ora a=e=koasurani.
 (私)わかる してから (私がお前に)知らせる

わかってあなたに知らせました。

エアニ ヘネ ネ ヤクン
 eani hene ne yakun
 あなた でも である ならば

あなたなら

タン メノコ エシクヌレ
 tan menoko e=siknure
 この 娘 (お前)生かす

この娘を生かす

エアシカイ クニ アラム ワ
 easkay kuni a=ramu wa
 ことができる と (私)思っ て

ことができると思って

205 アエコアスラニ ヒ ネ ナ”
 a=e=koasurani hi ne na”
 (私があなたに)知らせる の です よ

あなたに知らせたのですよ」

セコロ アン… カムイ ネ クス コラチ アン クル
 sekor an... kamuy ne kusu koraci an kur
 と いうこと 神 だ から そのように いる 人

と、神々しい姿をした人が

ハウエアン ヤク アタカラ ワ
 hawean yak a=takar wa
 言う と (私)夢を見 て

話した夢を見ました。

オラノ ポ ヘネ
 orano po hene
 それから なおいっそう

それからなおいっそう

ネ メノコ ネウン ヤイエウエン ヤツカ
 ne menoko neun yayewen yakka
 その 女性 どんなに 体が不自由であっ ても

その女性がどんなに体が不自由でも

210 アシクヌレ クニネ
 a=siknure kunine
 (私)を生かす ように

生きられるようにと

カムイ サシニ¹³ ネ ワクス
 kamuy sasini ne wakusu
 神 の子孫 なの だから

神の子だったから

ニンカリ カ オアン ニンカリ ネ ヤツカ
 ninkari ka oar_ ninkari ne yakka
 耳輪 も 片方の 耳輪 であつても

耳輪も片方だけ

キサラ エオコク カネ アン ペ
 kisar eokok kane an pe
 耳 につけ ながら いる もの

耳につけていたのだ

13 実際の音はサシミ sasimi と聞こえる。

セコロ ヤイヌアン コロ
 sekor yaynu=an kor
 と 思う(私) ながら

と思いながら

215 アピリカイペレ アピリカトムテ コロ
 a=pirkaipere a=pirkatomte kor
 (私)よく食べさせる (私)よい着物を着せ ながら

おいしいものを食べさせ、よいものを着せて

オカアン アイネ イキ アイネ
 oka=an ayne iki ayne
 暮らす(私) し続けて そうする うちに

暮らしていました。そうするうちに

ヤイエウエン コロ ネ ヤツカ
 yayewen kor ne yakka
 体が不自由であり ながら で も

体が不自由なりに

アプカシ エアシカイ ヒ オラ
 apkas easkay hi ora
 歩く ことができる してから

歩けるようになると

アオナハ シネ アン タ エネ ハウエアニ。
 a=onaha sine an ta ene hawean _hi.
 (私の)父 ある時 このように言った

ある時父はこのように言いました。

220 “カツケマツ カムイ¹⁴ マク ネ…
 “ katkemat kamuy mak ne…
 お嬢 様 どう

「お嬢さん

ネウン クル ネウン オナ ウヌ ネ ヤツカ
 neun kur neun ona unu ne yakka
 どんな 人 どんな 父 母 で も

どんな人、どんなお父さんお母さんでも

ポ ネ マヌ プ エポタラ ヒ
 po ne manu p epotara hi
 子 と という ものを心配する こと

子供のことを心配する気持ちに

ウエホシ カ ソモ ネ。
 uehosi ka somo ne.
 違い も ない

違いはないものだ。

エネ ネウン ポンメノコ ネ ヤ
 ene neun ponmenoko ne ya
 こう どんな 若い娘 だ か

どんな娘さんかも

225 アエランペウテク ノ エネ アン ワ
 a=erampewtek no ene an wa
 (私)わからない で こうしてい て

知らずにこうしているが

エパ ワ エトウラ ワ エエク ルウエ ネ ヤクン
 e=pa wa e=tura wa e=ek ruwe ne yakun
 (お前を)見つけて (お前を)連れ て (お前)来る の ならば

息子があなたを見つけて連れて来たのだから

14 この場合のカムイ kamuy は尊称。「神」と訳せる場合の他に「～様」というニュアンスでも使われる。

フナク ウン ポンメノコ ネ ヤ
 hunak un ponmenoko ne ya
 どこ の 若い女性 だ か

どこの娘さんなのか

アコウエペケンヌ ヤク ピリカ ナ¹⁵⁾
 a=kouwepekennu yak pirka na?
 (私)わけを尋ねる と いい よ

事情を聞かせてくれないか」

セコロ アオナハ ハウエアン ルウエ ネ ヒネ
 sekor a=onaha hawean ruwe ne hine
 と (私の)父 言う の です そして

と父は言いました。

230 オラ エアシリ アコオリパク コロ
 ora easir a=kooripak kor
 こんど 改めて (私)遠慮し ながら

すると娘は本当にかしこまって

チシ コロ パテク アン ヒ
 cis kor patek an hi
 泣い て ばかり いる こと

泣いてばかりいるのが

ポ ヘネ アケムヌ プ ネ クス
 po hene a=kemnu p ne kusu
 なおさら (私)あわれむ もの だ から

なおさらかわいそうなので

アコオリパク コロ オラ
 a=kooripak kor ora
 (私)遠慮し ながら こんど

聞くのをはばかっていたましたが

シネアンタ アコウエペンヌ アクス
 sineanta a=kouwepennu akusu
 ある時 (私)わけを尋ね たところ

ある時私は尋ねました。

235 “ネウン ポンメノコ ネ ワ
 “neun ponmenoko ne wa
 どこの 若い女性 であって

「どこの娘さんで

エネ チシ コロ パテク アン ヒ ネ ヤ
 ene cis kor patek an hi ne ya
 このように 泣い て ばかり いる の だ か

そのように泣いてばかりいるのか

アエランペウテク コロカ
 a=erampewtek korka
 (私)わからない けれど

わかりませんが

アコウエペンヌ カ アエランポキウエン ワ
 a=kouwepennu ka a=erampokiwen wa
 (私)わけを尋ねる も (私)かわいそうに思っ て

聞くのも気の毒で

アコウエペケンヌ カ ソモ キ ノ
 a=kouwepekennu ka somo ki no
 (私)わけを尋ね も しない で

聞かないで

15 ピリカ ヤ? pirka ya? と言おうとしたものか。

- 240 テ パクノ オカアン ルウエ ネ ア コロカ
 te pakno oka=an ruwe ne a korka
 ここまで 暮らす(私) こと だった けれど
 今まで暮らしていたのですが
- フナク タ オナ… ウヌフ オナハ
 hunak ta ona... unuhu onaha
 どこ に 父 母 父
 どこにお母さんやお父さんが
- コロ ペ ネ ルウエ ネ ヤ
 kor pe ne ruwe ne ya
 持つ もの な の だ か
 いるのか
- イエ ワ イヌレ ヤク ピリカ ナ”
 ye wa i=nure yak pirka na”
 言っ て (私に)聞かせる と いい よ
 私に聞かせてください」
- セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ
 と私が言ったところ
- 245 オラノ チサ チサ コロ アン アイネ
 orano cis a cis a kor an ayne
 こんど 泣き に 泣き ながら いる あげく
 娘はずっと泣いていましたが
- オラ エネ ハウエアニ。
 ora ene hawean _hi.
 こんど このように言った
 このように言いました。
- “アオナハ アウヌフ ポロ ユペトウン
 “a=onaha a=unuhu poro Yupet un
 (私の)父 (私の)母 大きい ユペツ の
 「私の父母はユペツ本流の
- コタン ウン ニシパ アオナハ ネ ヒネ
 kotan un nispa a=onaha ne hine
 村 の 長 (私の)父 であって
 村に住んでいて、父は村長でした。
- オカアナ¹⁶
 oka=an _wa
 暮らす(私) して
- 250 アユピヒ カ トウン アン アサ カ アン ヒネ
 a=yupihi ka tun an a=sa ka an hine
 (私の)兄 も ふたり いる (私の)姉 も い て
 兄が2人に姉もいて
- オカアン ペ ネ ヒケ
 oka=an pe ne hike
 暮らす(私) もの だ が
 暮らしていたのですが
- マク ネ ワ ネ ヤ
 mak ne wa ne ya
 どう し て だ か
 一体どういうわけか

16 アン=anとアa=の間の単なる挿入音か。

エアラキンネ アオナハ アウヌフ アユプタリ
earkinne a=onaha a=unuhu a=yup utari
本当に (私の)父 (私の)母 (私の)兄 たち

父母と兄たちは

イエヤム ワ イワ… ネプ カ アカリ カ
i=eyam wa iwa... nep ka a=kar hi ka
(私を)大切に して 何 も (私)する こと も

とても私を大事にして、何をしようとしても

255 イココパン コロ オカアン。
i=kokopan kor oka=an.
(私を)拒み ながら 暮らす(私)

しないでいいからと言います。¹⁷

ニナアン カ ソモ キ
nina=an ka somo ki
薪をとる(私) も しない

私は薪とりもせず

ネプ カ アカラ カ ソモ キ ノ
nep ka a=kar ka somo ki no
何 も (私)する も しない で

何もしないで

ヘル ケメイキ パテク アキ コロ
heru kemeyki patek a=ki kor
ただ 針仕事をする ばかり (私)し ながら

ただ針仕事ばかりしながら

チセ オンナイ タ アナン オラ
cise onnay ta an=an ora
家 の中 で 暮らす(私) こんど

家の中で過ごしていました。

260 アサ アナクネ ニナ ネ ヤ スケ ネ ヤ
a=sa anakne nina ne ya suke ne ya
(私の)姉は 薪とり でも 炊事 でも

姉は薪とりでも炊事でも

キ コロ アン ヤツカ
ki kor an yakka
し て いる が

していましたが

アカスイ カ ソモ キ ノ アナン ペ ネ ア プ
a=kasuy ka somo ki no an=an pe ne a p
(私)手伝う も しない で 暮らす(私) もの だった が

私は手伝うこともしないでいました。

シネアンタ アサ エネ ハウエアニ。
sineanta a=sa ene hawean hi.
ある時 (私の)姉 このように言った

あるとき姉が

トウレプタアン ルスイ クス イトウラ
'turepta=an rusuy kusu i=tura'
ウバユリを掘る(私) したい ので (私を)連れる

『オオウバユリを掘りたいからついておいで』

265 セコロ アサ ハウエアン ヒ クス
sekor a=sa hawean hi kusu
と (私の)姉 言う だから

と言うので

17 前掲の『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』CC800084 で質問者が「この娘は耳輪をつけて生まれて来たのではないか」というのに対して上田トシ氏は肯定も否定もしておらず、どの時期から耳輪をしていたのかは不明だが、この娘の家族は神の加護を受ける子であるため大切に育てていたことを示している。

ネ… トウレプタアン カ エキムネアン カ
 'ne... turepta=an ka ekimne=an ka
 その ウバユリを掘る(私) も 山に行く(私) も

『オオウバユリ掘りも山仕事も』

ソモ キ ノ アナン ペ
 somo ki no an=an pe'
 しない で いる(私) のに

『したことがないのに』

セコロ ハウエアナン ヤツカ
 sekor hawean=an yakka
 と 言う(私) しても

と私は言いました

イシレン ヒ クス オラ
 i=siren hi kusu ora
 (私を)連れる だから こんど

それでも誘うので

270 アトウラ ヒネ エネ トウレプタアン クス
 a=tura hine ene turepta=an kusu
 (私)連れ て こう ウバユリを掘る(私) ために

連れ立ってオオウバユリ掘りに

ペツ トウラシ パイエアン ルウエ ネ アクス
 pet turasi paye=an ruwe ne akusu
 川 川上の方へ 行く(私) こと だったところ

川をさかのぼって行きました。すると

ピリカ トウレプ トイ アニネ オロワノ
 pirka turep toy an_hine orowano
 いい ウバユリ 群生地 あって それから

いいオオウバユリの群生地がありました。

オロ タ トウレプタ アタ ア アタ ア ヒネ
 oro ta turepta a=ta a a=ta a hine
 そこ で ウバユリ掘り (私)何度も掘っ て

そこでオオウバユリをたくさん掘っては

フムネ アン タ アウウエカリレ コロ アナン アクス
 humne an ta a=uwekarire kor an=an akusu
 時には (私)集め ながら いる(私) したところ

時々集めていると

275 アサ エネ ハウエアニ。
 a=sa ene hawean hi.
 (私の)姉 このように言った

姉はこのように言いました。

シンキアン クス ウコムイアン ロ
 'sinki=an kusu ukomuy=an ro'
 疲れた(私) ので 束ねる(私たち) しましょう

『疲れたので束ねましょう』

セコロ アサ ハウエアニ コロカ
 sekor a=sa hawean korka
 と (私の)姉 言う けれど

と姉は言うのですが、私は

キ カ アサク ペ ネ クス
 'ki ka a=sak pe ne kusu
 カヤ も (私)ない もの だ から

『カヤがないと』

ウコムイアン カ アエトランネ クス ピリカ
 ukomuy=an ka a=etoranne kusu pirka'
 束ねる(私) も (私)しにくい ので いい

束ねづらいからいい』

280 セコロ ハウエアナン アクス オラ モシマノ
 sekor hawean=an akusu ora mosmano と言ってかまわずに
 と 言う(私) したところ こんど 別に

トゥレプ エトウ アチャ コロ アン ア プ オラ スイ
 turep etu a=ca kor an a p ora suy ユリ根を切り取っていると、また
 ウバユリ の先 (私)刈っ て い た のにこんど また

シンキアン クス シニアン ロ
 'sinki=an kusu sini=an ro' 『疲れたから休みましょう』
 疲れた(私) ので 休む(私) しよう

セコロ スイ ハウエアナン コロカ
 sekor suy hawean korka と言うのですが
 と また 言う けれど

シンキアン カ ソモ キ ルウエ ネ
 'sinki=an ka somo ki ruwe ne' 『疲れていないよ』
 疲れる(私) も しない こと だ

285 ヤク アイエ コロ
 yak a=ye kor と言って
 と (私)言っ て

トゥレプ エトウ アチャ コロ アナン ア プ セコロ
 turep etu a=ca kor an=an a p sekor ユリ根を切り取っていると、急に
 ウバユリ の先 (私)刈っ て いる(私) た 途端に

アサパ¹⁸ テッコノイエ ヒ パテク
 a=sapa tekkonoye hi patek 私の髪の毛を手でねじり上げたところまでは
 (私の)頭 手でねじり上げる ことまで

アエラムアン ワ オラ
 a=eramuan wa ora 覚えていて、それから
 (私)覚える して こんど

エネ ネウン イカラアン ヒ カ エランペウテク ノ
 ene neun ikar=an hi ka erampewtek no どうなったのかわからずに
 どのように される(私) ことも をわからない で

290 アナン ア プ
 an=an a p いたのですが
 いる(私) だったが

エネ マカナク アカトウフ アン。
 ene makanak a=katuhu an. どういうわけかこんな姿になりました。
 こう どんな (私の)格好 だろう

イキアン ヒネ
 iki=an hine そうするうちに
 する(私) して

18 サバウシペ sapauspe 「髪の毛」と言おうとしたのだろう。

エネ アイコオシコニ ワ
ene a=i=kooskoni wa
このように (人が私を)追いかけて

こうしてあなたが駆けつけて

アイシクヌレ ルウエ ネ ヒ コロカ
a=i=siknure ruwe ne hi korka
(人が私を)生かす の だ ことけれど

私の命を救ってくれましたが

295 ヤイエカトウアン カトウフウエンアン ワ…
yayekatuan katuhuwen=an wa…
自分で格好が悪い 体が不自由になる(私) して

体が不自由になり、それが恥ずかしくて

エネ アイエ ヒ カ イサム。
ene a=ye hi ka isam.
どう (私)言う ことも ない

言うべき言葉もありませんでした。

ポ ヘネ オリパカン アイネ
po hene oripak=an ayne
なおさら 遠慮をする(私) したあげく

なおさら遠慮をしながら

チシ パテク アキ コロ アナン ルウエ ネ”
cis patek a=ki kor an=an ruwe ne”
泣く ばかり (私)して いる(私) の です

このように泣いてばかりいたのです」

セコロ ハウエアン ルウエ ネ イネ
sekor hawean ruwe ne hine
と 言う こと であって

と言うので

300 イヨクンヌレアン ロク イヨクンヌレアン ロク
iyokunnure=an rok iyokunnure=an rok
何度も驚く(私達)

驚くやらあきれるやら

アオナハ ネ ヤッカ イヨクンヌレ。
a=onaha ne yakka iyokunnure.
(私の)父 で も 驚く

父も

ヤイカタ カ アオクンヌレ コロ オカアン
yaykata ka a=okunnure kor oka=an
自分で も (私達)驚い て いる(私達)

私たちも驚きあきれてしまいました。

ラポッケ タネ ヤイエウエン コロカ
rapokke tane yayewen korka
そのうちに もう 体が不自由だ けれど

そのうちにもう体が不自由なりに

アプカシ エアシカイ ヒ クス… ヤクン
apkas easkay hi kusu... yakun
歩く ことができる それから ならば

歩けるようになると

305 アオナハ シネアンタ エネ ハウエアニ。
a=onaha sineanta ene hawean hi.
(私の)父 ある時 こう 言った

父はある時このように言いました。

“イオナネ クル イウヌネ クル ウタラ
“ionane kur iunune kur utar
父である 人 母である 人 たち

「ご両親が

ポタラ ヒ ウエホシ カ ソモ キ ナンコン ナ。
 potara hi uehosi ka somo ki nankor_ na.
 心配する こと 違い も ない だろう よ

心配しているに違いない。

カッケマツ ルラパ…パ ヤク ピリカ ナ”
 katkemat rurapa...pa yak pirka na”
 お嬢さん を送って行く と いい よ

お嬢さんを送ってあげなさい」

セコロ アオナハ ハウエアン ルウエ ネ ヒネ オラ
 sekor a=onaha hawean ruwe ne hine ora
 と (私の)父 言う こと だ そして こんど

と父が言って

310 アサ トウラノ レン アネ ヒネ
 a=sa turano ren a=ne hine
 (私の)姉 と一緒に 3人 (私達)になって

姉と一緒に3人で

アルラ クスネ イ
 a=rura kusne _hi
 (私達)送って行く つもりだ こと

家に送ってあげようと

アイェ アクス オラノ ポ ヘネ チシ コロ オラ
 a=ye akusu orano po hene cis kor ora
 (私)言っ たところ こんど なおさら 泣き ながら こんど

言うと娘は一緒になおさら泣きながら

アトウラ ヒネ ペツ トウラシ パイエアン。
 a=tura hine pet turasi paye=an.
 (私達)連れ立って 川 を川上に 行く(私)

私たちは連れ立って川を上って行きました。

アプカシ エウエン ノイネ アン ウシケ タ ネ アナクネ
 apkas ewen noyne an uske ta ne anakne
 歩く しにくい ような 場所 に なる と

歩きづらいようなところは

315 アカイ カネ ワ ナイ トモトウイェ ネ ヤ
 a=kay kane wa nay tomotuaye ne ya
 (私)背負い も して 川 を渡る など

私が娘を背負って川を渡ったり

サマムニ トモトウイェ ネ ヤ アキ コロ
 samamni tomotuaye ne ya a=ki kor
 倒木 を横切る など (私)し ながら

倒木を越えたりしながら

ペツ トウラシ パイエアン アイネ
 pet turasi paye=an ayne
 川 を川上へ 行く(私) したあげく

川をさかのぼっていくと、やがて

ポロ ユペトウン アオラン ヒ オラ
 poro Yupet un a=oran hi ora
 大きい ユペツ に (私)下り てから

ユペツ本流に出て

サパン ルウエ ネ アクス
 sap=an ruwe ne akusu
 下る(私) こと だっ たところ

下っていくと

320 ソンノ カ インネ コタン アン イネ
 sonno ka inne kotan an _hine
 本当に も 大勢の 村 あっ て

本当に大きな村がありました。

ネ コタン ノシキ タ ウニヒ¹⁹ ネ ヤク イェ コロ
 ne kotan noski ta unihi ne yak ye kor その村の真ん中の家がわが家ですと言いながら
 その 村 の真ん中 に の家 だ と 言い ながら

エウン アフン ヒ クス
 eun ahun hi kusu そこへ 入る ので
 そこへ 娘が入ったので

ナニ オシ アフナン ルウエ ネ アクス
 nani os ahun=an ruwe ne akusu すぐに私たちも入りました。すると
 すぐ 後 入る(私達) の です すると

オンネ クン ルプネマツ
 onne kur_ rupnemat 年老いた男性と女性が
 老 紳士 老婦人

325 ヘムイムイェ ワ ホツケ ワ オカ。
 hemuymuye wa hotke wa oka. 頭から着物を被って寝ていました。²⁰
 着物を被っ て 寝 て いる

イユプネ ウタラ カ ヘムイムイェ ワ
 iyupne utar ka hemuymuye wa 兄たちも頭から着物をかぶって
 兄である 人たち も 着物を被っ て

ホツケ ワ オカ ルウエ ネ ノイネ アン イネ
 hotke wa oka ruwe ne noyne an _hine 寝ているようで
 寝 て いる の である ようで あっ て

ネ マヌ プ… イサネ メノコ シネ メノコ
 ne manu p isane menoko sine menoko 例の姉ひとり
 と いう もの 姉である 女性 ひとり 女性

タクピ モイモイケ コロ アン ヒネ
 takupi moymoyke kor an hine だけが働いていました。
 だけ 働い て い て

330 オロ タ アフパン ルウエ ネ イネ オラ
 oro ta ahup=an ruwe ne _hine ora そこに私たちが入って行って
 そこ に 入る(私達) の だ そして こんど

“アオナ アオナ アウヌ
 “a=ona a=ona a=unu 「お父さんお父さん、お母さん
 (私の)父 (私の)父 (私の)母

シクヌアン ワ エカン ナ”
 siknu=an wa ek=an na” 生きて帰ってきましたよ」
 生きる(私) して 来る(私) よ

セコロ ハウエアン イケ カ
 sekor hawean _hike ka と娘が言っても
 と 言っ て も

19 「村の真ん中にある立派な家」という表現はこの娘が村長の娘であることを示している。

20 (腹が立って / 情けなくて / 悲しくて) 着物 (=掛け布団) を頭からかぶって寝ている。[田]

ヘムイ カ シムヤムヤパ ワ
 hemuy ka simuyamuyapa wa
 着物を被る も 体を揺すって嫌がっ て

着物をかぶったまま体を揺すっていやがって

335 ニサプ ノ
 nisap no
 すぐ に

すぐには

(娘が語る)

イヌカラ カ ソモ キ ノ オカ ロク ヒネ
 i=nukar ka somo ki no oka rok hine
 (私を)見 も しない で い た そして

私を見ることもしません。

パラパラカン コロ アコヘムヘム²¹ プ ネ クス
 paraparak=an kor a=kohemuhemu p ne kusu
 大泣きする(私) ながら (私)うなずく もの だ から

私が大声で泣きながらうなずくもので

アキサハ ヌカラ コロ エアシリ
 a=kisaha nukar kor easir
 (私の)耳 を見 て 初めて

私の耳輪を見て初めて

“アマツネポ” セコロ ハウエオカ コロ
 “a=matnepo” sekor haweoka kor
 (私の)娘 と 言い ながら

「娘よ」と言って

340 ウコパラパラク コロ
 ukoparaparak kor
 互いに大泣きし ながら

一緒に声をあげて泣きながら

“タネ ウシクタ
 “tane usikta
 今 ごろに

「今になって

シクヌ ワ エク クニ アラム カ ソモ キ。
 siknu wa ek kuni a=ramu ka somo ki.
 生き て 来る と (私)思う も しない

生きて帰るとは思わなかった。

ヒナク ワ シクヌ ワ エイキ ワ
 hinak wa siknu wa e=iki wa
 どこ で 生き て (お前)い て

どこで生きていて

エカン ルウエ ネ ヤ?”
 ek=an ruwe ne ya?”
 来る(人) の だ か

帰って来たのか」

345 イイエコバ²² コロ オラ パラパラクパ。
 i=yekopa kor ora paraparakpa.
 (私に)言う? ながら こんど 大泣きする

と私に言いながら大声で泣きました。

21 コヘムヘム ko-hemuhemu ~に対して・うなずく。

22 不詳。

ネ イユブネ²³ クル ウタラ カ ホブンパ イネ
 ne iyupne kur utar ka hopunpa _hine
 その 兄である 人 たち も 起き て 兄たちも起きて

“アマタキ”
 “a=mataki”
 (私の)妹 「妹よ」

セコロ ハウエオカ コロ イカタライランケ。²⁴
 sekor haweoka kor ikatarayranke.
 と 言い ながら ? と言いながら

パラパラクパ ルウエ ネ ヒネ オラ
 paraparakpa ruwe ne hine ora
 大泣きする こと であっ て こんど 大声をあげて泣きました。

(ユベツの男性が語る)

350 ネア オンネクル²⁵ エネ ハウエアニ。
 nea onnekur ene hawan _hi.
 その 老紳士 このように言った その老人はこのように言いました。

“アマツネポホ ポロ アマツネポ トウラ ワ
 “a=matnepoho poro a=matnepo tura wa
 (私の)娘 大きい (私の)娘 を連れ て 「姉が妹を連れて

ヒナク ウン トウレプタ クナク イェパ コロ
 hinak un turepta kunak yepa kor
 どこ に ウバユリを掘る と 言い ながら どこかにオオウバユリを掘りに行くと言って

エキムネ ア プ オラ
 ekimne a p ora
 山に行っ た のに こんど 山に行ったのに

プイネ イワク イ クス
 puyne iwak _hi kusu
 ひとりで 帰る だから ひとりで帰って来たので

355 マク ネ ヒネ プイネ イワク ネ ヤ
 ‘mak ne hine puyne iwak ne ya’
 どう し て ひとりで 帰る のだか 『どうしてひとりで帰って来たんだ』

アコウウエペケンヌ アクス
 a=kouwepekennu akusu
 (私)尋ねる したところ と尋ねると

ペトルン ワッカ ク ヤク イェ コロ
 ‘pet or un wakka ku yak ye kor
 川 の所 で 水 を飲む と 言い ながら 『(妹が)水を飲むと言って

23 実際の発音はイユクネクル iyuknekur と聞こえる。以下いくつかの箇所と同様の発音になっている。

24 不明。

25 話者が娘であればアオナハ a=onaha 「私の父が」というべき所。

ペトルン ラン ア プ
 pet or un ran a p
 川 の所に 下り た のに

川に下りていったのに

エクシコンナ オウオッチウ ヒネ
 ekuskonna owotciw hine
 突然 水に落ち て

急に水に落ちて

360 モム ワ ヒ クス
 mom wa hi kusu
 流れる して だから

流れられてしまったのです。

オシ アケサンパ ヤツカ
 os a=kesanpa yakka
 後から (私)追いかけた が

追いかけたけれど

ペツ ポロ プ ネ クス
 pet poro p ne kusu
 川 大きい ものだ から

川が大きいので

アトウライヌ ワ イワカン ルウェ ネ
 a=turaynu wa iwak=an ruwe ne'
 (私)見失っ て 帰る(私) の だ

見失って帰って来たのです』

セコロ ハウエアン コロ プイネ イワク ワ
 sekor hawean kor puyne iwak wa
 と 言い ながら ひとりで 帰っ て

と言ってひとりで帰って来た。

365 オラノ ケシト ケシト
 orano kesto kesto
 それから 毎日 毎日

それから毎日毎日

アウタリ トウラノ ペトロ ペカ
 a=utari turano pet oro peka
 (私の)村人 と一緒に 川 の所 一帯を

村人と一緒に川じゅうを

アフナラ ヤツカ
 a=hunara yakka
 (私)探す しても

探したが

アパ ソモ キ ヤク イエパ コロ
 'a=pa somo ki' yak yepa kor
 (私)見つからない と 口々に言いながら

『見つからない』と口々に言って

イワクパ プ ネ クス
 iwakpa p ne kusu
 帰る ものだ から

帰って来るので

370 タネ ウシクタ アナクネ
 tane usikta anakne
 今 ごろ は

もう今ごろに

アマツネポ シクヌ ワ エク クニ
 a=matnepo siknu wa ek kuni
 (私の)娘 生き て 来る と

娘が生きて帰って来るとは

アラム カ ソモ キ ノ
a=ramu ka somo ki no
(私)思い も しない で

思わずに

アコヘムイムイエ コロ オカアン ロク ア プ、
a=kohemuymuye kor oka=an rok a p,
(私達)着物を被っ て 暮らす(私達) だっ た が

頭から着物を被って暮らしていたのだが

カムイ アン ペ ソネ クス
kamuy an pe sone kusu
神 いる もの 本当 なので

神がいるのは本当なので

375 アマツネポ シクヌ ワ エク”
a=matnepo siknu wa ek”
(私の)娘 生き て 来る

娘が生きて帰った」

セコロ ハウエオカパ コロ ウコパラパラク
sekor haweokapa kor ukoparaparak
と 口々に言い ながら 一緒に大泣きする

と言って一緒に泣きました。

ヒ オラ ネ イユブネ クル ウタラ
hi ora ne iyupne kur utar
それ から その 兄である 人 たち

そして兄たちは

エネ ハウエアニ。
ene hawean _hi.
このように言った

このように言いました。

“アサ ウェンカムイ²⁶
“a=sa wenkamuy
(私の)姉 悪いやつ

「姉のやつめ

380 ウェン ケウトウム コロ ワ
wen kewtum kor wa
悪い 心 を持つ て

悪い心を抱いて

エネ アマタキヒ ライケ ワ オラ
ene a=matakihi rayke wa ora
このように (私の)妹 を殺し て こんど

こうして妹を殺しておいて

エネ オウオッチウ セコロ
ene owotciw sekor
このように 水に落ちる と

水に落ちたと

スンケ コロ イワク ヒネ アン”
sunke kor iwak hine an”
嘘をつい て 帰っ て いる

嘘を言って帰って来ていたのだ」

ヒ オラ エアシリ ネ イサネ メノコ ハウエアン ヒ。
hi ora easir ne isane menoko hawean hi.
それ から 初めて その 姉である 女性 言った こと

するとようやく姉がこう言いました。

26 この場合のカムイ kamuy は「やつ」という程度の意味で、尊敬の念はもちろん含まれていない。

385 “マク ネ ヒネ シネ トウイ²⁷ オロ ワ
 “ mak ne hine sine tuy oro wa
 どう し て ひとつ 腹 の所 から

「一体どうして、ひとつの腹から

ヘトウクパアン ペ アネパ ルウエ ネ ヒケ オラ
 hetukpa=an pe a=nepa ruwe ne hike ora 生まれた私たちなのに
 生まれる(私達) もの(私達)である こと だ のに こんど

アマタキ アナクネ ネプ カ アカレ ヒ カ
 a=mataki anakne nep ka a=kare hi ka 妹には何も
 (私の)妹 は 何 も (人)させる ことも

スケ ポカ ネプ カ アカレ ヒ カ
 suke poka nep ka a=kare hi ka 炊事も何も
 炊事 でも 何 も (人)させる ことも

アオナハ ウタリ ウココパン ワ パテク
 a=onaha utari ukokopan wa patek 『しないでもいいよ』と言うばかり。
 (私の)父 たち 互いに拒む して ばかり

390 ピリカノ スクプヌ コロパ ワ オラ
 pirkano sukupnu korpa wa ora お父さんたちはとてもかわいがって育てたけど
 よく 豊かな成長 を持つ て こんど

ヤイカタ イヘコテ アナクネ
 yaykata i=hekote anakne 私に対しては
 自分で (私に)対して は

ウエン ウッシウ ネ イカラ。
 wen ussiw ne i=kar. 召使いのようにこき使いました。
 貧しい 使用人 として(私を)する

ニナ ネ ヤ スケ ネ ヤ ネプ ネ ヤッカ
 nina ne ya suke ne ya nep ne yakka 薪とりでも炊事でも何でも
 薪とり でも 炊事 でも 何 でも

ウエン ウッシウ ネ イカラ ワ
 wen ussiw ne i=kar wa 召使いのようにこき使って
 貧しい 使用人 として(私)し て

395 エイタサ アマタキ アコヌコシネ ワクス
 eytasa a=mataki a=konukosne wakusu あまりに妹が憎らしいので
 あまりにも (私の)妹 (私)憎い ので

アライケ フムネ クナク アラム コロ
 a=rayke humne kunak a=ramu kor 殺してやろうと思って
 (私)殺す ときには と (私)を思い ながら

ペトルン アオスラ プ
 pet or un a=osura p 川に捨てたのに
 川 の所に (私)捨てる のに

27 トウイ tuy は通常「魚などはらわた」を意味するが、この場合は「お母さんのお腹」という意味。

タネ アナクネ ネ ウェン ケウトウム アコロ ア ヒ
 tane anakne ne wen kewtum a=kor a hi もう私の悪だくみを
 今 は その 悪い 心 (私)持っ た こと

カムイ ネ ヤッカ イコホサリ ワ
 kamuy ne yakka i=kohosari wa 神様が見透かして
 神 であっても (私に)振り向い て

400 ウェン サンペ ネ ウェン ケウトウム アコロ ア ヒ
 wen sampe ne wen kewtum a=kor a hi 悪い心、悪い企みを私が持ったことで
 悪い 心 その 悪い 心 (私)持っ た こと

アイコオシコニ ワ ネ ヤクン タネ アナクネ
 a=i=koosikoni wa ne yakun tane anakne 私が捕まるのなら、もう
 (人が私に)追いかけて である ならば 今 は

ネウン アイカラ ヤッカ ピリカ ルウェ ネ²⁸
 neun a=i=kar yakka pirka ruwe ne” どうされてもいい」
 どのように (人が私に)し ても いい の だ

セコロ ヤイカタ ヤイエイタク ペ ネ クス
 sekor yaykata yayeytak pe ne kusu と白状したので
 と 自分で 自分で言う もの だ から

ネ イユブネ クル ウタラ ナニ
 ne iyupne kur utar nani 兄たちがすぐさま
 その 兄である 人 たち すぐに

405 ネ メノコ サパウシペ テッコノイエ オラノ
 ne menoko sapauspe tekkonoye orano その娘の髪の毛をつかんで
 その 女性 髪の毛 手でねじる それから

ウェン パラコアツ ヒ イエパ コロ
 wen parkoat hi yepa kor ひどくののしりながら
 ひどく 罰が当たる こと 言い ながら

トイコキッキクパ ヒネ エソイネ オスルパ。
 toykokikkikpa hine esoyne osurpa. さんざん殴りつけて家の外に放り出して
 ひどく殴りつける して 外に 捨てる

コムンウフイカ トウムン コヌンヌイパ
 komun'uhuyka tumun konunnuypa ごみと一緒に焼き、ちりと一緒に掃きました。
 ごみと一緒に燃やす ごみ と一緒に掃く

(娘が語る)
 ヒ オラ エアシリ
 hi ora easir そしてようやく
 それから 初めて

410 “ タプネ カネ ネ ワ
 “ tapne kane ne wa 「このようなわけで
 このようなわけ であっ て

28 この話のように姉がないがしろにされて妹に殺意を抱くという散文説話のパターンがあるが、逆にいかにも姉があやしいように見えて真犯人が別にいるという場合もある。核心を推理しながら聞き進むのもアイヌ口承文芸の醍醐味である。

ペトツ タ アン メノコ ネ ワ
 pet or_ ta an menoko ne wa
 川 の所 に いる 女性 であって

川にいた女性を

アパ ヒネ ヒネ²⁹⁾
 a=pa hine hine”
 (私)見つけ て そして

私が見つけたのです」

ユペトウン クル イエ ワ
 Yupet un kur ye wa
 ユベツ の 人 言っ て

ユペツの人がそう言って

イオナネ クル ウタラ ネ ヤツカ
 ionane kur utar ne yakka
 父である 人 たち であっても

父親たちにも

415 エウン イコイソイタク イキ ロク アイネ
 eun i=koisoytak iki rok ayne
 に (私に)話をする し た したあげく

一緒にいろいろ話をして

ヒネ アシクヌレ ヒ ネ ヤ
 hine a=siknure hi ne ya
 そして (私)生かす ことでも

そして命を救ってくれたことも

コイソイタク ペ ネ クス
 koisoytak pe ne kusu
 話をする もの だ から

(ユベツの男性が)話したので

イヨクンヌレ ロク イヨクンヌレ… ネ ヤ
 iyokunnure rok iyokunnure... ne ya
 何度も驚く で も

皆あきれんやら驚くやら

ネ ユペトウン クル エウン
 ne Yupet un kur eun
 そのユベツ の 人 に

そのユベツの人に

420 ヤイライケ ヒ イエ ロク イエ ロク コロ
 yayrayke hi ye rok ye rok kor
 感謝する こと 何度も言い ながら

感謝の言葉を何度も言いました。

オカアン ロク イネ オラ エアラキンネ
 oka=an rok _hine ora earkinne
 いる(私) だったして こんど 本当に

そうして、本当に

ネ イウヌネ メノコ カ
 ne iunune menoko ka
 その母である 女性 も

その母も

“ヤイカタ カ ウェナン イネ
 “yaykata ka wen=an _hine
 自分 も 悪い(私) して

「自分も悪かったです。

29 ヒネ ヒネ hine hine は不詳。

ポン アマツネポ パテク
pon a=matnepo patek
小さい (私の)娘 ばかり

下の娘ばかりを

425 アマツネポ ネ ペコロ ヤイヌアン ワ
a=matnepo ne pekor yaynu=an wa
(私の)娘 である ように 思う(私) して

娘のように思って

アピリカレス ワ… ヒ カ
a=pirkaresu wa... hi ka
(私)よく育て て こと も

大切に育てたことは

ヤイカタ カ ウエンアン ヒ ネ コロカ
yaykata ka wen=an hi ne korka
自分 も 悪い(私) こと だ けれど

私も悪かったけれど

エネ アン ウエン プリ コロ クニ
ene an wen puri kor kuni
このような 悪い 行い 持つ と

こんなひどいことをするとは

アラム カ ソモ キ ア プ
a=ramu ka somo ki a p
(私)思い も しなかつ た が

思わなかったのに

430 エネ アン ウエン プリ
ene an wen puri
このような 悪い ふるまい

このような悪いふるまいを

アウエンマツネポ ポロ ヒケ キ アンノ アン”
a=wenmatnepo poro hike ki anno an”
(私の)悪い娘 大きい 方 する すっかり ある

愚かな姉娘がしたというのか」

セコロ ハウエオカパ コロ イルシカパ ネ ヤ
sekor haweokapa kor iruskapa ne ya
と 言い ながら 怒る だとか

と言って怒ったり

イケムヌ ハウ ネ ヤ キ コロ
i=kemnu haw ne ya ki kor
(私を)哀れむ 話 だ とかし ながら

私に同情したりしながら

オラノ オカアン アイネ
orano oka=an ayne
それから いる(私達) したあげく

いました。やがて

435 タネ オホンノ オカアン ルウエ ネ アクス オラ
tane ohonno oka=an ruwe ne akusu ora
もう 長い間 いる(私達) の だったので こんど

もう長い時間過ぎたので

ネ ユペトウン クル エネ ハウエアニ。
ne Yupet un kur ene hawean hi.
その ユベツ の 人 このように言った

ユベツの人はこのように言いました。

“エイタサ オホンノ アナン ヤッカ
“eytasa ohonno an=an yakka
あまり 長い間 いる(私) しても

「あまり長いことここにいても

アオナ ウタラ カ イエポタラ クス
 a=ona utar ka i=epotara kusu
 (私の)父 たち も (私を)心配する ので

父たちが心配するので

ホシッパアン クス ネ”
 hosippa=an kus ne”
 帰る(私) します

帰ります」

440 ヒ イエ アクス オラ
 hi ye akusu ora
 こと を言う したところ こんど

と言ったところ

(ユペツの男性が語る)
 ネ アトウラ ア メノコ ウヌフ エウン
 ne a=tura a menoko unuhu eun
 その (私)連れ立っ た 女性 の母 に

その一緒に来た娘は母親に

ネプ カ コヘトウツトウリ⁵⁰ ルウエ ネ アクス
 nep ka kohetutturi ruwe ne akusu
 何か に頭を伸ばす こと だっ たところ

何か耳打ちすると

ネア イウヌネ メノコ スイ ネ オンネ クル エウン
 nea iunune menoko suy ne onne kur eun
 その 母である 女性 また その老 紳士 に

その母親もまた老人に

ネプ カ コヘトウツトウルパ アクス オラ
 nep ka kohetutturpa akusu ora
 何 か 頭を伸ばし たところ こんど

何かを耳打ちしました。すると

445 オンネ クル エネ ハウエアニ。
 onne kur ene hawean _hi.
 老 紳士 このように言った

老人はこのように言いました。

“ネ アマツネポ エネ ハウエアニ。
 “ ne a=matnepo ene hawean _hi.
 その (私の)娘 このように 言った

「娘が言うのはこうです。

マカナク カトウ アナン ワ
 ‘makanak katu an=an wa
 どのように 事情 ある(私) して

『どんなわけがあつて

アイコオシコニ ルウエ ネ ヤ カ
 a=i=koosikoni ruwe ne ya ka
 (人が私を)追いかける こと だ か も

私を見つけに来てくれたのか

アエラミシカリ ノ
 a=eramiskari no
 (私)わからない で

わかりませんが

450 カトウウエンアン コロ ネ コロカ
 katuwen=an kor ne korka
 体が不自由になる(私) ながら だ けれど

体が不自由になったけれど

ネプ カ ヤイライケアン ヒ カ
 nep ka yayrayke=an hi ka
 何 も 感謝をする(私) ことも

何の感謝も

アエアイカプ クス テ ワノ ポカ
 a=eaykap kusu te wano poka
 (私)できない ので ここから でも

できないので、これからは

タン ユペツ コン ニシパ アトウラ ワ
 tan Yupet kor_nispa a=tura wa
 この ユペツ の 旦那 (私)連れ て

このユペツの旦那さんと一緒になって

アラパ ワ サナン ワ
 arpa wa san=an wa
 行く して 下る(私) して

行ったり来たりして

455 パロオスケアン ルスイ クス ネ コロカ
 paro'osuke=an rusuy kusu ne korka
 食事の世話をする(私) したい するつもりだ けれど

食事を作ってあげたいのですが

マク ネ ユペトウン クル ヤイヌ ルウエ ネ ヤ
 mak ne Yupet un kur yaynu ruwe ne ya
 どのように ユペツ の 人 思う こと だ か

どのようにユペツの方が思われるか

エラミシカリ コロ アイエ ハウエ ネ ナ
 eramiskari kor a=ye hawe ne na'
 わからない ながら (私)言う の だ よ

わからないままに申し出るので』

セコロ アマツネポ ハウエアン ルウエ ネ ”
 sekor a=matnepo hawean ruwe ne”
 と (私の)娘 言う の です

と娘が言うのですよ」

セコロ ネ イオナネ クル ハウエアン ヒ オラ
 sekor ne ionane kur hawean hi ora
 と その 父である 人 言う こと そして

とその父親が言うので

460 ピリカ ヒ アイエ
 pirka hi a=ye
 良い こと (私)言う

私は承諾をし

ヤイライケアン ヒ アイエ コロ オラ
 yayrayke=an hi a=ye kor ora
 感謝する(私) こと (私)言い ながら こんど

感謝の言葉を述べて

“ネ ポンメノコ アトウラ ワ サナン ワ
 “ne ponmenoko a=tura wa san=an wa
 その 若い娘 (私)連れ て 下る(私) して

「その娘さんを私が連れて行って

アシカ… パロスケレ³¹⁾
 a=sika... parosukere”
 (私)自分の食事の世話をしてもらう

食事を作ってもらおう」

31 アシカオイキヤラ a=sikaoykiyar 「人に養ってもらおう」と言いかけたが、アシパロスケレ a=siparosukere と言い直したもののか。

クニ アイェ ワ エヤイコブンテク オラ
 kuni a=ye wa eyaykopuntek ora
 と (私)言っ て それを喜ぶ そして

と私は言うと娘は喜びました。そして

465 “ネ イサネ メノコ カ イサム ワ
 “ne isane menoko ka isam wa
 その 姉である 女性 も いない して

「姉がいなくなって

オカケ タ メノコ カ サク ノ オカ ヒケ カ
 okake ta menoko ka sak no oka hike ka
 その後 で 女性 も なし に 暮らす の も

後々女手なしで暮らすのは

スケ カ オンネクル ウタラ カ
 suke ka onnekur utar ka
 炊事 も の老人 たち も

炊事するにもお年寄りたちが

アエランポキウエン クス ヤクン
 a=erampokiwen kusu yakun
 (私)気の毒に思う ので ならば

気の毒です。でしたら

アサ アホツパ クス ネ クス
 a=sa a=hoppa kus ne kusu
 (私の)姉 (私)残して行きます から

私の姉を置いていきますので

470 ポロ イユプネ クル アサ トウラノ
 poro iyupne kur a=sa turano
 大きい 兄である 人 (私の)姉 と一緒に

長男と私の姉を

エウタンネ ワ シパロオスケレ
 eutanne wa siparo'osukere
 一緒になっ て 自分を養ってもらう

夫婦にして養ってもらって下さい。

オンネクル ウタラ パロオスケ ヤク ピリカ ナ”
 onnekur utar paro'osuke yak pirka na”
 老人 たち の食事を世話すると いい よ

老人たちを養ってもらって下さい」

セコロ アイェ プ ネ クス オラ
 sekor a=ye p ne kusu ora
 と (私)言う もの だ から こんど

と私が言ったので

ネ ウタラ カ
 ne utar ka
 その 人たち も

その人たちも

475 エアラキンネ エヤイコブンテクパ コロ
 earkinne eyaykopuntekpa kor
 本当に 喜び ながら

本当に喜びました。

オラ ホシツパアン。
 ora hosippa=an.
 こんど 帰る(私)

そして私は帰りました。

ネ ポンメノコ アトウラ カネ ヒネ サパン。
 ne ponmenoko a=tura kane hine sapan.
 その 若い娘 (私)連れ も して 下る(私)

娘を連れて川を下って行きました。

- アウニ ウン ホシピアン クス ネ イケ カ
 a=uni un hosipi=an kusu ne _hike ka
 (私の)家 に 帰る(私) しようとする のに も
 私の家に帰ろうにも
- ヤイエウエン ペ ネ クス アプカシ カ
 yayewen pe ne kusu apkas ka
 体が不自由である もの だ から 歩く も
 娘は体が不自由なので歩くのも
- 480 コヤイクス コロ ネ コロカ アトゥラ。
 koyaykus kor ne korka a=tura.
 しづらい ながら だ けれど (私)連れる
 大変なのですが、連れて行きました。
- フムネ ウエン ウシケ タ アカイ カネ ワ
 humne wen uske ta a=kay kane wa
 時には 悪い 場所 で (私)背負い も して
 歩きにくい場所では私が背負って
- アラキアン ヒネ
 arki=an hine
 来る(私) して
 帰って来て
- アウニ タ シレパアン ルウエ ネ イネ
 a=uni ta sirepa=an ruwe ne _hine
 (私の)家 に 着く(私) こと である して
 私の家に到着しました。
- アオナハ エウン タプネ ネ ヒ アイエ
 a=onaha eun tapne ne hi a=ye
 (私の)父 に こうした こと (私)言う
 父にいきさつを告げた
- 485 アクス オラノ
 akusu orano
 すると こんど
 ところ
- アオナハ エヤイコプンテク ネ ワ
 a=onaha eyaykopuntek ne wa
 (私の)父 喜ぶ であって
 父は喜んでくれました。
- ネア ポンメノコ ケウエホムス
 nea ponmenoko kewehomsu
 その 若い娘 の無事を喜ぶ
 その娘の無事を喜んで
- “エネ ヘタプネ アラム ア プ
 “ene hetapne a=ramu a p
 どうしたものと (私)思っ た が
 「どうしたんだろうかと思っていたが
- スイ ホシピ ワ イカオイキ ハウエ
 suy hosipi wa i=kaoyki hawe
 また 帰っ て (私を)世話する こと
 また帰って来て私たちを世話してくれるとは
- 490 ポ ヘネ ピリカ ピリカ”
 po hene pirka pirka”
 なおさら 良い 良い
 なおさら良かった良かった”
- セコロ アオナハ カ ハウエアン コロ
 sekor a=onaha ka hawean kor
 と (私の)父 も 言い ながら
 と父も言って

トゥラノ オカアン ルウエ エネ アニ。
 turano oka=an ruwe ene an_hi.
 一緒に 暮らす(私) こと このようだった

一緒に暮らしました。その暮らしぶりと言ったら

ソンノ ヤイエウエン ペ ネ クス… コロカ
 sonno yayewen pe ne kusu... korka
 本当に 体が不自由である ものだから けれど

本当に体が不自由なのですが

ユプテク メノコ ネ ヒネ
 yuptek menoko ne hine
 働き者 女性 であって

働き者の女性なので

495 アウヌフ ネプ カ テケ ケレ カ ソモ キ ノ
 a=unuhu nep ka teke kere ka somo ki no
 (私の)母 何 も 手 を触れ も しない で

母に何も触れせずに

スケ ネ ヤ ナ ネン ネン イキ コロ
 suke ne ya na nen nen iki kor
 炊事 で も まだ いろいろ し ながら

炊事やいろいろしながら

オカアン ワ
 oka=an wa
 暮らす(私) して

暮らしました。

オロワノ アナクネ ネプ カ
 orowano anakne nep ka
 それから は 何 も

それからは何も

アエシリキラプ カ ソモ キ ノ オカアン
 a=esirkirap ka somo ki no oka=an
 (私)苦勞し も しない で 暮らす(私)

苦勞せずに暮らしました。

500 ラポッケ アサ カ アホツパ ノ エカン ヒ カ
 rapokke a=sa ka a=hoppa no ek=an hi ka
 そのうちに (私の)姉 も (私)置いて 来る(私) ことも

その間、姉を残して来たことを

アオナハ エウン アイェ プ ネ クス
 a=onaha eun a=ye p ne kusu
 (私の)父 に (私)言う ものだから

父に言ってあったので

オラ イオシ アサハ トウラノ
 ora i=os a=saha turano
 こんど (私の)後 (私の)姉 と一緒に

後から姉と一緒に

ネア ポロ ユペトウン イユプネ クル トウラノ
 nea poro Yupet un iyupne kur turano
 その 大きい ユペツ の 兄である 人 と一緒に

あのユペツの義兄が

ウトウラ カネ ワ サツパ ワ
 utura kane wa sappa wa
 連れ立つ ながら して 下っ て

連れ立ってやって来ては

505 トウツコ カ レレコ カ イオツ タ
 tukko ka rerko ka i=or_ ta
 2日 も 3日 も (私の)所 に

2、3日私の家に

シニパ ネ ヤ ナ ネン ネン イキパ ワ
 sinipa ne ya na nen nen ikipa wa
 休む だ とか まだ いる いる し て

泊まっているいろいろなことをして

ホシッパ ヤツカ オラ
 hosippa yakka ora
 帰っ ても こんど

帰って行きました。

ヤイカタ アナクネ
 yaykata anakne
 自分 は

私は

アマチヒ アナクネ ヤイエウエン ペ ネ クス
 a=macihi anakne yayewen pe ne kusu
 (私の)妻 は 体が不自由である もの だ から

妻の体が不自由なので

510 オナハ ウタラ エウン ホタヌ エアラパ カ
 onaha utar eun hotanu earpa ka
 父 たち を 訪ねる に行く も

義父たちを訪ねていくことも

エアイクプ ノ コロ ネ コロカ ネ…
 eaykap no kor ne korka ne…
 できない で ながら だ けれど その

できないのですが

ヤイカタ ポロ ユペトウン オンネ ウタラ
 yaykata poro Yupet un onne utar
 自分 大きい ユベツ の 年寄り たち

私がユベツ本流の義父たちを

アホタヌカラ ネ ヤ
 a=hotanukar ne ya
 (私)訪ねる で も

見舞ったり

ポロ ユベツ から… オロ ワ
 poro Yupet から … oro wa
 大きい ユベツ から そこ から

ユベツ本流から

515 アオナ ウタラ ネ ヤ イホタヌカラパ
 a=ona utar ne ya i=hotanukarpa
 (私の)父 たち で も (私を)訪ねる

義父たちが訪ねて来たり

ウタシパ ウコパヨカアン コロ オカアン
 utaspa ukopayoka=an kor oka=an
 お互いに 行き来する(私) ながら 暮らす(私)

お互いに行き来をしながら暮らしました。

ラポッケ オラ ポ カ アコロ ラポッケ オラ
 rapokke ora po ka a=kor rapokke ora
 そのうちに こんど 子供 も (私)持つ うちに こんど

そのうちに私たちに子供ができて

アサ カ ポロ ユベツ タ… クル トウラノ
 a=sa ka poro Yupet ta… kur turano
 (私の)姉 も 大きい ユベツ に 人 と一緒に

姉もユベツ本流の義兄と一緒に

アン ペ ネ クス アサ カ ポコロ
 an pe ne kusu a=sa ka pokor
 暮らす もの だ から (私の)姉 も 子供ができる

なったので子供ができました。

520 ヤイカタ カ ポコロアン シリ カ
 yaykata ka pokor=an siri ka
 自分 も 子供ができる(私) 様子 も

私に子供ができた様子を

アオナハ カ アウヌフ カ ヌカラ ワ
 a=onaha ka a=unuhu ka nukar wa
 (私の)父 も (私の)母 も 見 て

父も母も見て

ポロ ユペトウン クル ウタラ ネ ヤツカ
 poro Yupet un kur utar ne yakka
 大きい ユペツ の 人 たち で も

ユペツ本流の人たちも

ポ カ ミツポ カ ヌカラパ ワ
 po ka mippo ka nukarpa wa
 子供 も 孫 も 見 て

子供も孫も見て

モシロツパ ワ… コロカ
 mosiroppa wa... korka
 この世を去っ て けれど

この世を去ったのですが

525 アマチヒ アナクネ
 a=macihi anakne
 (私の)妻 は

妻は

アラパ コヤイクス ヤク イェ プ ネ クス
 arpa koyaykus yak ye p ne kusu
 行き づらい と 言う もの だ から

行くことができないというので

プイネ ネ コロカ アラパアン ワ
 puyne ne korka arpa=an wa
 ひとりで だ けれど 行く(私) して

私がひとりで行って

ネ ユペトウン ニシパ ウタラ
 ne Yupet un nispa utar
 その ユペツ の 旦那さん たち

そのユペツの旦那さんたち(義父母)に

アコイタクムイェ ネ ヤ アコイタッコテ ネ ヤ
 a=koytakmuye ne ya a=koytakkote ne ya
 (私)追悼の言葉をのべる で も (私)言葉を添える で も

追悼の言葉を添えて

530 キ ワ アシキリパレ
 ki wa a=sikirpare
 し て (私)向かわせる

送り出しました。

オラ アオナ ウタラ ネ ヤツカ オンネ ヒケ カ
 ora a=ona utar ne yakka onne hike ka
 こんど (私の)父 たち で も 年若い て も

そして私の父たちが年老いても

ヤツカ ユペトウン ニシパ ウタラ アラキパ ワ
 yakka Yupet un nispa utar arkipa wa
 しても ユペツ の 旦那さん たち 来 て

ユペツの義兄たちはやって来て

アオナ ウタラ カ アピリカオンネレ オカケ タ
 a=ona utar ka a=pirkaonnere okake ta
 (私の)父 たち も (私)天寿を全うする 後 で

父たちも天寿を全うした後で

ポシレシクテアン ワ
 posiresikte=an wa
 子供がたくさんできる(私) して

子孫がたくさんできて

535 オンネアン ペ ネ アクス アイェ
 onne=an pe ne akusu a=ye
 年を取る(私) もの だっ たところ (私)言う

私も年老いて死んでいくのでお話しします

セコロ シネ メノコ³² イソイタク セコン ネ。
 sekor sine menoko isoytak sekor_ ne.
 と ある 女性 物語る と さ

と、ひとりの女性が物語ったそうです。

32 シネ メノコ sine menoko (一人の女性)とあるが、終了時の話者はユベツウンクルYupet un kurなので、シネ ニシパ sine nispa (一人の男性)の言い間違いと思われる。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 1

上田トシの民話 1

発行日 2015年2月28日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。